

エクストリームシリーズ2006 尾瀬檜枝岐大会

尾瀬檜枝岐大会優勝者コメント

チームよせあつめ 原田 彩子 さん

今シーズン初のアドベンチャーに出場してきた。チームよせあつめ：ちょこな・杉山さん・私 というメンバ。

このチームは、シリーズ戦であるエクストリームの過去2戦で共に優勝していて、それぞれ強い女性メンバ（びろり、さくらさん）だったのだが、今回は全くからだできていない私。今回は優勝はあきらめて、レースを楽しもうねと話していた。

んだが、レース始まると、一気に優勝めざすぞモードに変わった。

今回のレースは残雪のせいもあり、コースがショートカットされたようで、スプリントコースになったし、地図読みもあまり難しくなかったので、体力勝負でることは読めていた。だから、レース開始後すぐに牽引され、最初から心拍ばりばり最高潮！

MTBでは杉山さんに牽引され、ちょこなにうしろから押してもらって・・・。トレランでも杉山さんに牽引され、ザックをちょこなに持ってもらって・・・。というお姫様状態。

そんな自分の力以上のパフォーマンスを出し続けた結果、コース前半から一気に両足が攀り始め、最後まで攀ったままだった。それでも走り続けた。チームが一丸となって、優勝を最後まで諦めなかったからだ。

私は私1人の体力が理由で、優勝は無理だと思った。途中まで、チーム男山が1位で、うちのチームは頑張っても2位までしか行けない状態。最後は、MTBの登り&下り。しかも、すぐ後ろにはまたMTBが得意なココペリ。この2位を死守するしかないと思った。

そのためにナビを迷わず行い、止まらずに進み続けた。

すると、最後のCPでなんと1位と聞かされた。まじで・・・？信じられない・・・。たぶん、途中の1カ所だけあった分岐で彼らはやらかしちゃった（ナビミスした）のだろうなとすぐにわかった。

ということは、優勝は目の前にあるということ！！それからの下りは、両足が攀っていることよりも、後ろからひしひしと追ってくる見えないプレッシャーとの戦いだった。こういうドキドキは滅多に体験できない。まだ慣れられないけどちょっと好き♪そして、みんなが苦手な下りも進み続け、ゴール手前の舗装路にきてはまだ後ろにはチームがいなかった。ここからは猛ダッシュ！そして、ゴーーーーーール！！！！

本当に優勝してしまった！！

棚ぼた的な優勝であるが、これは最後まで全力をつくして全員が諦めなかったからだ。そして、3人がこのレースに対するモチベーションが一致していたからだと思う。（これって結構大切）そして、私がこんなに弱々な状態であるにもかかわらず、杉山さんとちょこなは、今まで私の組んできたチームの中で、一番サポートしてもらえたとし、常に前向きな言葉ばかりかけてくれた2人のおかげである！！

私は今回ほど、レース中に「ありがとう」を連発したことはない。

本当に紳士的な2人だった。

本当に私にとって幸せな素晴らしいチームだった。今度、もしまたチームを組んでもらえるのなら、是非ナイトセクションもあるレースと一緒に出てみたい。その時には、体力をもうちょっとちゃんとつけておきたいなと思ってる。

本当に2人に感謝！！

檜枝岐チーム 橋 健一さん

初めて、参加をさせていただきました。はじめに、スタッフの方々、地元の関係者のみなさま方に心から感謝申し上げます。

さて、私も様々なスポーツを経験しましたが、この大会はひと言で言う「究極のスポーツ。」だと感じました。

その1 大自然の中でのステージである。

その2 自分自身の、心を信じること。

その3 自分自身の、体を信じること。

その4 自分自身の、装備関係を必要最小限万全に整えること。

その5 チームメイトを信じ、助け合うこと。

これにつきると思いました。

我々、地元チームということで、様々な利点はあったかと思いますが、上記の点を「心してかかっていなかったなあ〜。」と今反省しています。

大会を振り返ってみると、CP2で思わぬ苦戦を強いられました。沢沿いの指示は理解できたのですが、まさか、もう一本沢があるとは・・・(>_<)そのCP2だけが、大きな失敗でした。その他は、高校生二人と力を合わせ、すばらしいレース展開ができたと思いました。特に、後半のスパートは目を見張るモノがあったと思います(^o^)^特に、チャレンジステージでの「いわな」「丸太」は若さとエネルギッシュさで、他のチームに引けをとりませんでした(^_^)また、ラストの川越の後の山登りにおいては、他とのチームの方に、自転車を交換してもらって登るなど、感動のドラマもありました。この場を借りて、御礼と感謝申し上げます。

夜のBBQ partyでは、多くのチームの方々とお懇親を深めることができました。とくに、このエクストリームスポーツに賭ける選手の皆様方の熱意と情熱に心打たれました。たとえば、食事においてもとても気を遣われており、「自己の節制を求められているなあ〜。」と痛感しました。(みなさん結構ベジタリアン・・・(*^_^*))

この1日をとおして、本当に貴重な体験とアスリートとは、社会人とは、生涯スポーツとは・・・様々なことを学ばさせていただいた一日でした。重ねて感謝と御礼を申し上げます。

最後に協賛各社のスポンサーの方々にも感謝申し上げ感想といたします。

次のステージには参加できませんが、参加予定の皆様のご健闘をご期待いたします。そして、さらに来年はバージョンアップした大会になることを期待しています(*^_^*)

来年は全ステージ参加したいなあ〜(・・・このスポーツに、は ま り ました・・・)